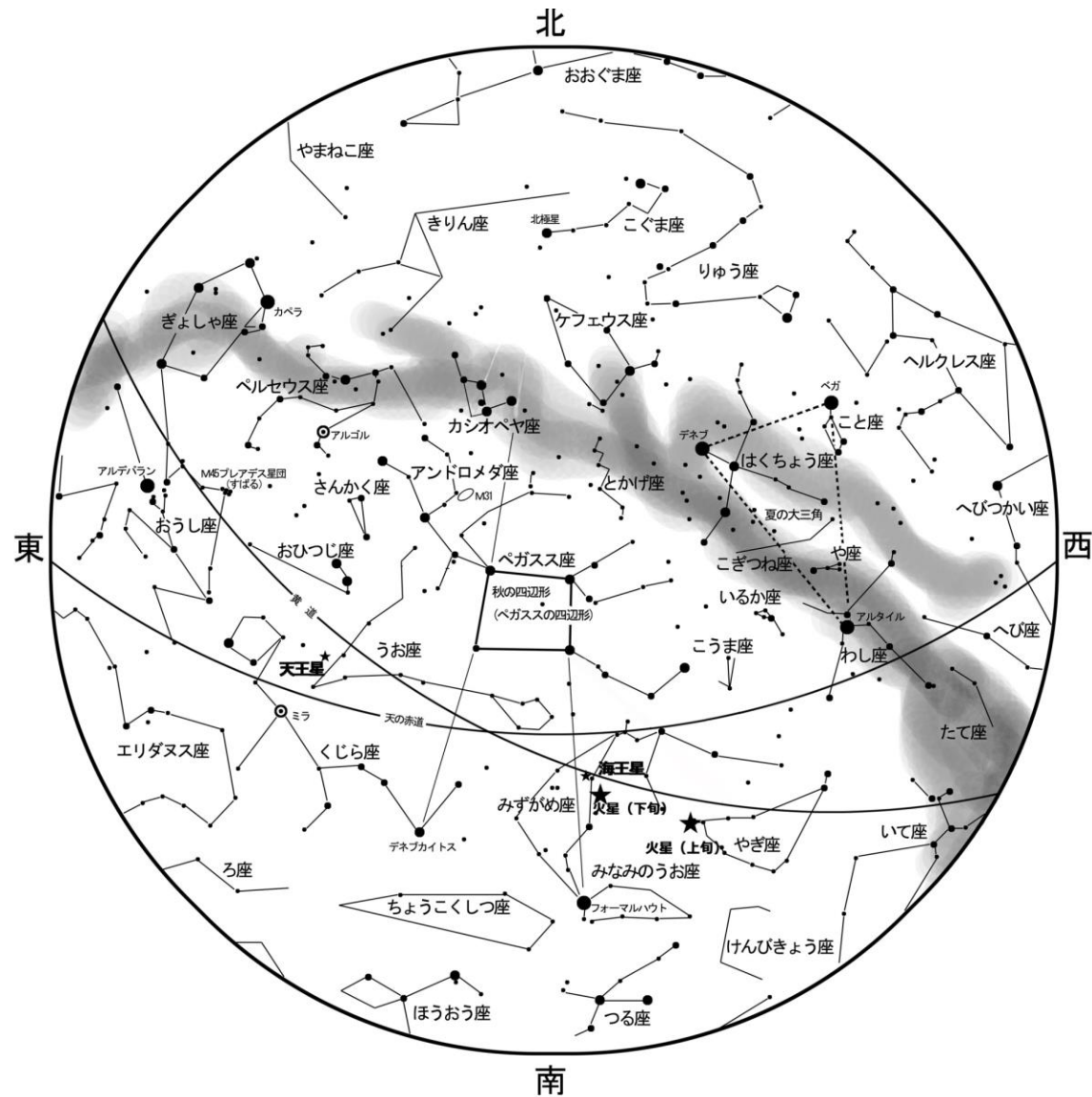


平成30年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★11月の星空案内

秋の星座を見つけるためには、まず頭の真上あたりに同じくらいの明るさの星4つで作る四角形の星の並びを探しましょう。これは“秋の四辺形（ペガサスの四辺形）”と言われる星の並びで、ペガスス座の一部です。では、この“秋の四辺形”を使って秋の星座をめぐっていきましょう。“秋の四辺形”の西（右）の辺を南にのぼしていくと、秋の星空で唯一の一等星フォーマルハウトがあります。ここあるのがみなみのうお座です。次に、“秋の四辺形”の東（左）の辺を北にのぼしていくと、Wの字に星が並んでいるカシオペア座、南にのぼしていくと、二等星デネブカイトスが見つかります。デネブカイトスはくじらのしっぽという意味で、ここにあるのがくじら座です。そして、“秋の四辺形”の北東角（左上）の星を頂点としたAの字の星の並びがアンドロメダ座です。このあたりに雲のように見えるものがあります。これが、私たちが住む天の川銀河の隣の銀河アンドロメダ銀河（M31）です。秋の夜長は“秋の四辺形”をたよりに、秋の星座めぐりを楽しんではいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

水星(-0.2~5.1等): さそり→てんびん座付近	日没後、南西の低空で輝く。(上旬のみ)
金星(-4.5等前後): おとめ座付近	夜明け前、南東の空で明るく輝く。(中旬~下旬)
火星(-0.3等前後): やぎ→みずがめ座付近	日没後、南の空で輝く。
木星(-1.7等前後): てんびん→さそり座付近	日没後、南西の低空で輝く。(上旬のみ)
土星(0.5等前後): いて座付近	19時頃、南西の低空で輝く。

注目の天文現象 ~赤い火星と白いフォーマルハウトを見よう~

秋は明るい星が少なく少々寂しい夜空ですが、今秋は少し様子が違うようです。秋の夜空で唯一の1等星、白く輝くフォーマルハウトの右上を見ると、赤く輝く火星がその明るさを競うかのように輝いています。

火星が赤く見えるのは、火星の表面が赤さび(酸化鉄)で覆われているからです。一方星座をつくる恒星の色は、その星の表面の温度によって決まります。表面の温度が低い星は赤く、表面の温度が高くなるほど白~青白く見えます。(肉眼で識別できるのは1等星以上の明るい星のみ)フォーマルハウトは表面の温度が高いため、白く輝いて見えるのです。

秋も深まるこの季節。暗い夜空を彩る二つの紅白の星を楽しんではいかがでしょう。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	木	☾ 下弦 (01:40)	15	木	☽ 上弦 (23:54)
7	水	水星が東方最大離角 (00:32) 立冬 (20:32)	18	日	しし座流星群が極大【条件:良】 (8時頃)
			23	金	☾ 満月 (14:39)
8	木	● 新月 (01:02)	30	金	☾ 下弦 (09:19)